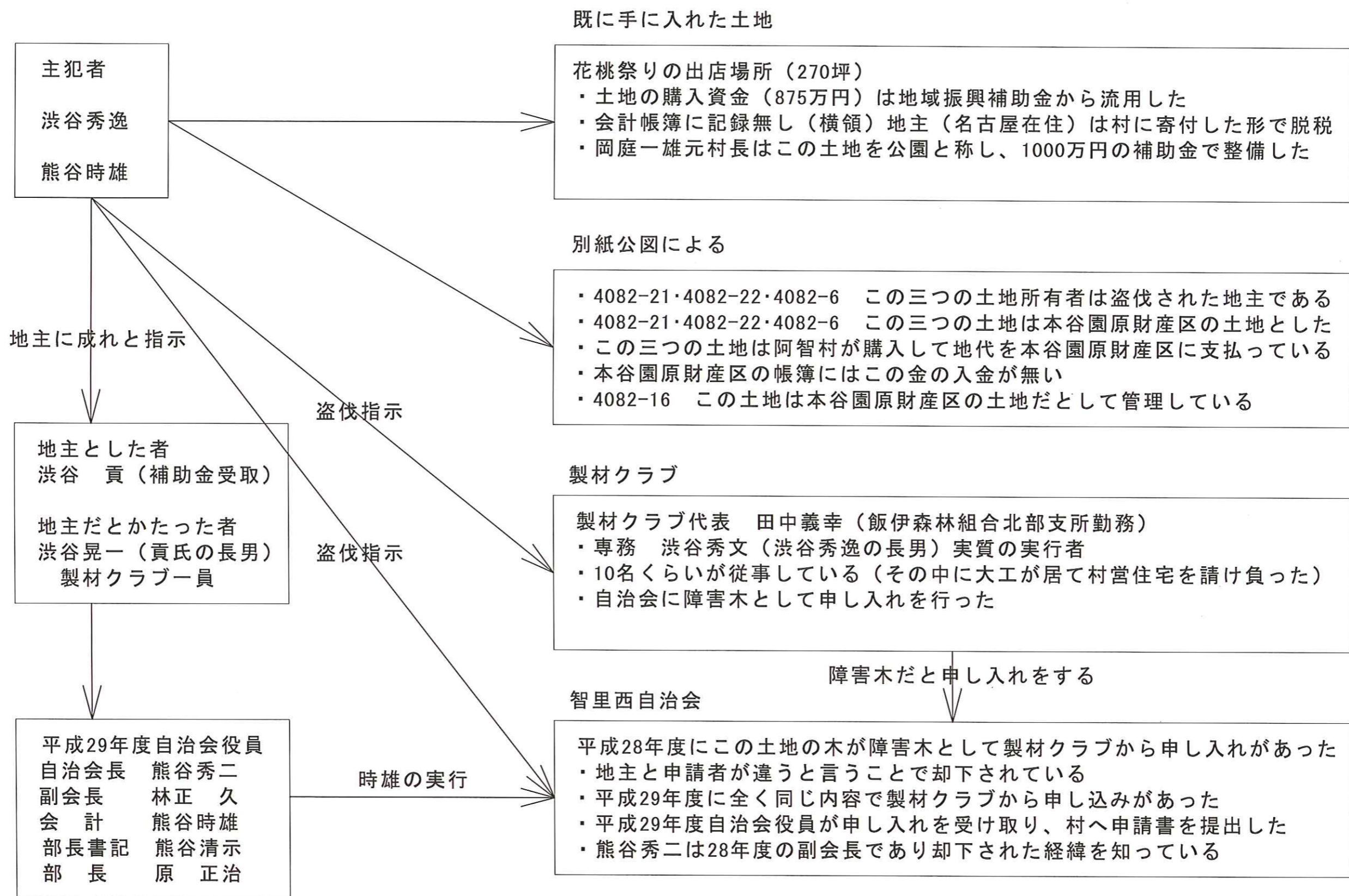


盗伐の主犯者と目的

渋谷秀逸と熊谷時雄は、花桃祭りの中心地となる林業活動拠点施設（現自治会館）周辺土地を手に入れるため。



当該土地の地主は遠方に住まわれており、渋谷貢氏は自分の土地だと言っていない。渋谷晃一が時雄の指示で自分の土地だとした。渋谷晃一は親戚の土地だが連絡が付かないのを理由とした。自治会役員は渋谷貢氏の土地では無いと知っていた。

